

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 12号)

2020年 1月30日発行

兵庫のみ研究所

珪藻は、この海域西部沿岸において小型のキートセロスを主体とし数種が見られますが発生量は少なく、それ以外の海域においてはほとんど確認されませんでした。窒素は一部地点を除き、二見から魚住周辺で1~2 $\mu\text{g-at/L}$ 台、江井ヶ島以東で3 $\mu\text{g-at/L}$ 台、明石海峡部周辺で4 $\mu\text{g-at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場内平均12.1 $^{\circ}\text{C}$ 。平年比2.2 $^{\circ}\text{C}$ 、昨年比0.6 $^{\circ}\text{C}$ ともに高い。(塩分) 平均31.96psu。前回(32.03)より約0.07psu低い。
 (栄養塩、珪藻) ユーカンピアは別府周辺で海水1mlあたり60細胞、これまで多かった高砂や伊保・白浜漁場で20細胞前後まで減少している。同海域では小型のキートセロスが主に見られ、前回(1/23)調査と比較し発生量は減少しているが、最盛期より細胞サイズが小粒のコシノディスカス(*C. wailesii*)が海水1Lあたり70~100細胞とやや目立って確認された。今回調査はここ数日吹いている西寄りの風の最中で、潮時も上げ始めということであったが、全般に珪藻が少ないことから窒素は前回調査から大きく減少することなく推移しているものと思われる。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	12.1	11.5	9.3	10.9
窒素	4.4	3.0	3.5	8.0
リン	0.56	0.54	0.37	0.58

(1/23)

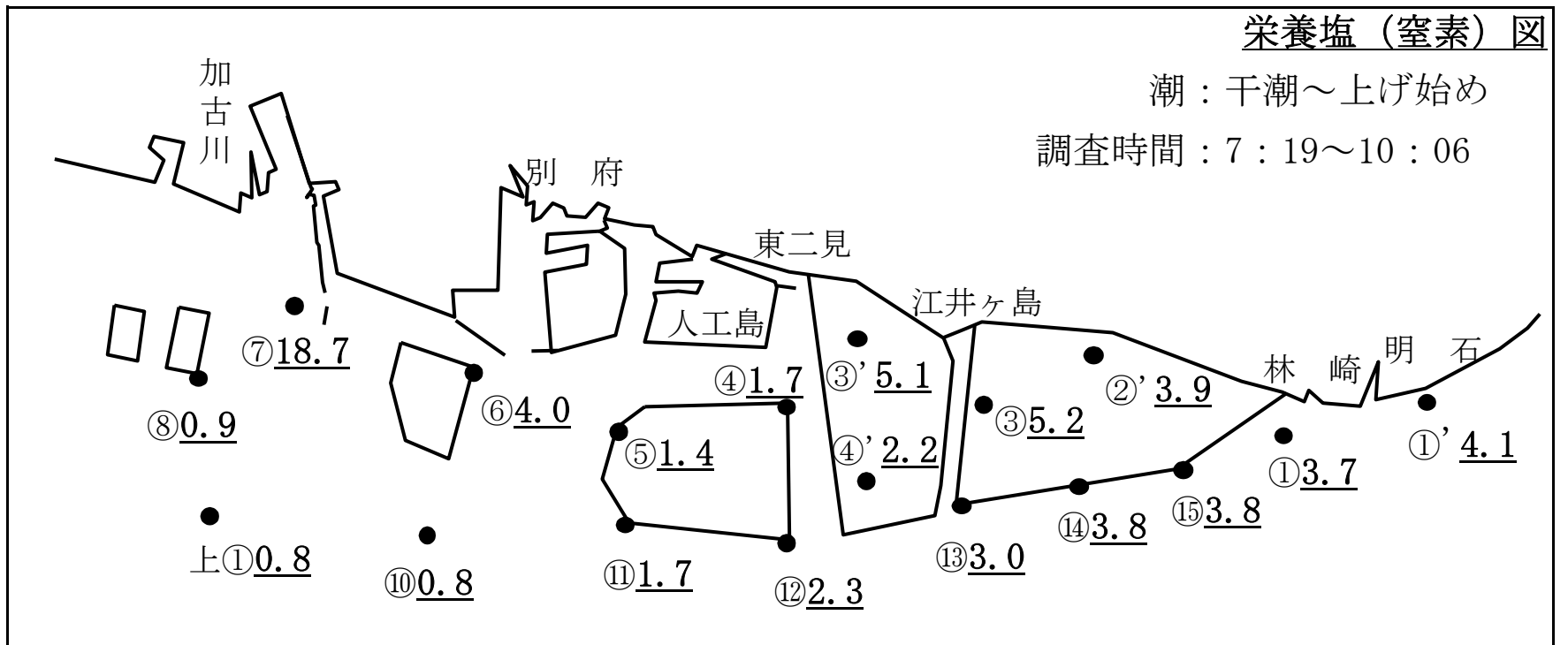
(1/25)

西播地先

伊保 地	水温	11.4 $^{\circ}\text{C}$	伊保 沖	水温	11.4 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	1.4		窒素	1.3
	リン	0.49		リン	0.48
白浜 地	水温	11.5 $^{\circ}\text{C}$	白浜 沖	水温	11.3 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	1.3		窒素	1.5
	リン	0.50		リン	0.48

2020年 1月30日調査

栄養塩(窒素) 図



水温図

